
SUBSIDY GUIDE

デジタル化・AI導入補助金2026 —オンラインスクール導入ガイド

いつ・いくらで・何から始めるか。導入の全体像がわかります



このガイドで わかること



- ✓ 1. StandOnとは
- ✓ 2. 補助金の基礎
- ✓ 3. 対象になる費用・ならない費用
- ✓ 4. 2026年のスケジュールと「逆算」
- ✓ 5. プラン別・費用シミュレーション
- ✓ 6. 申請前に知っておきたい5つのこと
- ✓ 7. どちらの進め方が合うか
- ✓ 8. どちらを選んでも、私たちが伴走します
- ✓ 9. 逆算チェックリスト
- ✓ 10. 業種の広がり

1.StandOnとは

補助金の対象になる「会員制オンラインスクール構築システム」

あなたの教えるを、もっと多くの人へ。会員制のオンラインスクールをつかって、運営するためのシステムです。



会員だけが見られる授業

見られるのは、ログインした会員だけ。クラスごとに閲覧できる範囲を分けられます。教室ロゴを設置した”あなただけ”のスクールが完成

動画と教材をまとめて公開

動画はYouTube・Vimeoの限定公開を埋め込み。PDFなどの資料も一緒に配れます。

生徒の受講状況が見える

最終ログイン・視聴の有無・受講完了率を、一覧で確認できます。

ITが苦手でも最短1日で開設

サーバー・サブドメイン・SSLは全プランに込み。ITが苦手な講師の方でも始められます。



この初期費用と利用料が、補助金の対象になります。

2. 補助金の基礎(デジタル化・AI導入補助金)

どんな制度？

デジタル化・AI導入
補助金2026

(旧・IT導入補助金)

国の中小企業
デジタル化支援
・通常枠

自分是对象？

中小企業・
小規模事業者

個人事業主も対象

いくら補助？

導入費用の
1/2を補助

補助額 5万～150万円未満

申請は大変？

StandOnは登録済みツールです。一人で格闘せず、シーズリー（登録支援事業者・中小企業診断士と連携）と一緒に進めます。

二人三脚で申請



お客様



シーズリー



事務局

→ 対象経費の詳細は次ページへ

3. 対象になる費用・ならない費用

StandOnは、本補助金の「登録済み対象ツール」です。動画スクールの構築・運営に特化したシステムで、初期費用から立ち上げの伴走サポートまでが補助の対象になります。

補助金の対象になる経費

StandOnの初期費用

システムの利用料（最大2年分）

立ち上げの伴走サポート費用
（設定代行・研修・コンサル等）

補助金の対象にならない経費

専門家による「申請支援費用」
（着手金8万円・成功報酬11万円）

交付決定前の契約・発注分

パソコン・カメラ等の機材類

※支援費用は補助対象外ですが、確実な手続きのために専門家と連携した体制をご用意しています（詳しくは後述）。

※補助対象はビジネス・プレミアムの2プラン（ベーシックは対象外）です。

4. 2026年のスケジュールと「逆算」

募集回	申請締切	交付決定（予定）	開講できるのは
4次募集	2026年8月25日（火） 17:00	10月7日（水）	10月中旬～
5次募集	2026年9月29日（火） 17:00	11月9日（月）	11月中旬～
6次募集	2026年10月30日（金） 17:00	12月10日（木）	12月中旬～年明け

※2026年8月時点の公表情報。以降は未公表。予算上限に達した枠から早期終了の可能性あり

**最重要ルール: 交付決定前の契約・発注は補助対象外（＝導入開始は交付決定後）**

1回遅れるごとに、開講が約5週間遅れます。

逆算: gBizIDプライム取得に2～3週間＋申請準備2～3週間 → **5次募集（締切9/29）**に間に合わせるなら8月中の着手が必要です。

5. プラン別・費用シミュレーション ※クラウド利用料1年分（税込）

補助金対象外

ベーシック

気軽に始めたい方に

規模の目安 **生徒10名・クラス2**

初期費用＋年額 **457,160円**

申請支援費用 —

補助金の対象外

ご負担

約45.7万円

補助金の対象になる2プラン

ビジネス

他の教室と差別化したい方に

規模の目安 **生徒30名・クラス5**

初期費用＋年額 **721,160円**

申請支援費用 **着手金8万＋成功報酬11万**

補助金で

-360,580円

実質ご負担

約55.1万円

プレミアム

会員制ビジネスを本格展開したい方に

規模の目安 **生徒100名・クラス10**

初期費用＋年額 **985,160円**

申請支援費用 **着手金8万＋成功報酬11万**

補助金で

-492,580円

実質ご負担

約68.3万円

※補助金の対象ツールとして登録されているのはビジネス・プレミアムの2プランです。ベーシックは対象外となります。

※前金8万円は不採択でも返金不可／成功報酬11万円は採択時のみ。中小企業診断士と連携した申請支援体制をご用意しています。

※クラウド利用料は最大2年分まで対象となるため、2年契約ならさらに補助対象額が広がります。

6. 申請前に知っておきたい5つのこと

費用のご負担が約半分になるのは、やはり大きな魅力です。その上で、始める前に知っておくと安心な点が5つあります。

注意点(知っておくべきこと)	備え(StandOnの支援体制)
申請書類の準備に御社側の協力が必要。採択後も実績報告・毎年の成果報告があります。	中小企業診断士と連携した申請支援と一緒に進めます。報告の時期と内容は契約前に一覧でお見せします。
申請から結果まで約2ヶ月待つ。導入開始はさらに先	導入開始まで計画的に進められます(スケジュールは4章を参照)。早く開講して売上づくりを先に始めたい場合は、補助金を使わずすぐ導入する道もあります。
採択率は約50～60%。確実に通るものではありません	不採択でも、再申請は3ヶ月以内・最大3回まで無料でサポートします。
不採択の場合、前金8万円は返金不可	不採択だった場合の進め方も含めて、無料相談で一緒に見通しを立てます。
補助金は後払い。1年分(2年契約なら2年分)の利用料を先に一括でお支払いいただくため、最初にまとまった資金が必要です。	月々のお支払いを抑えたい場合は、補助金を使わず月払いで導入する選択肢もあります(補助はつきませんが、初期のご負担を軽くできます)。

7. どちらの進め方が合うか

目 補助金を使って導入

- スケジュールに比較的余裕があり、書類準備の手間をかけられる方向け。
- 中小企業診断士と連携した申請支援がつき、専門家と一緒に進められます。
- 導入費用全体のご負担を約半分に抑えたい場合に最適な進め方です。

ト 補助金を使わずにすぐ始める

- 「なるべく早く開講したい」「書類の手間をかけたくない」方向け。
- gBizIDプライムの取得や申請書類の準備が不要で、ご担当者の手間が最小限で済みます。
- 審査の待ち時間がゼロのため、即座にスクール構築へ着手できます。

8. どちらを選んでも、私たちが伴走します

「補助金を待つべきか」「すぐに始めて売上を立てるべきか」——具体的な機会損失の計算は、想定される受講料や人数など、お客様のご状況によってまったく異なります。

そのため、この資料で「どちらがお得か」を断定することはいたしません。

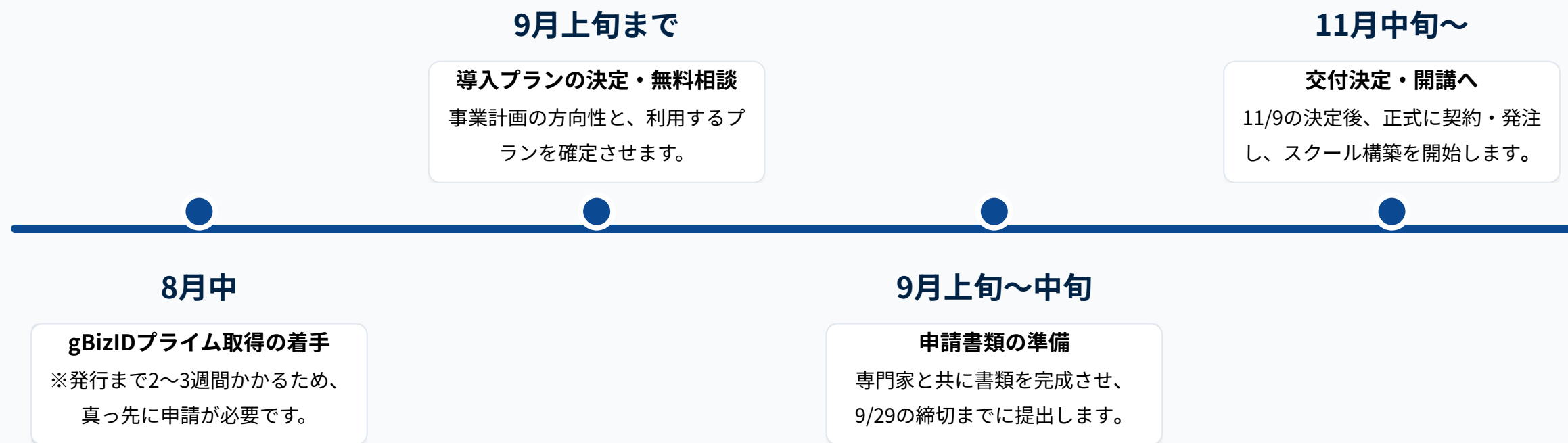
補助金を使って導入する場合でも、使わずにすぐ始める場合でも、申請から導入・活用まで、最後までしっかりと並走いたします。



迷われている方は、無料相談の場で
一緒に数字を計算して比較しましょう。

9. 逆算チェックリスト

5次募集（締切: 9/29）に間に合わせる場合のスケジュール



□ 【6次募集（締切: 10/30）に回す場合】

gBizIDプライム取得の着手（9月中旬まで）→ 導入プランの決定（9月下旬）→ 申請書類の準備（10月上旬～中旬）。
ただし、その場合開講できるのは「12月中旬以降」になるためご注意ください。

10. 業種の広がり

導入実績は、国立大学から個人事業主まで。「教える仕事」なら、業種を問いません。



自動車教習



協会・ビジネス団体



食育・料理教室



大学・教育機関



資格・検定スクール



コーチ・コンサル



士業（税理士など）



ヨガ・フィットネス



ダンス・バレエ



音楽・アート教室



語学スクール



学習塾・習い事

次の一步は、無料個別相談から

毎月1社限定で、60分の「無料個別相談」を実施しております。
実際の画面をご覧くださいながら、
御社のご状況に合わせた費用シミュレーションをその場で行います。



contact@stand-on.net



098-943-0198(平日10-17)

運営会社：株式会社シーズリー

無料相談のお申込み



【免責事項】

※本資料の補助金情報は2026年8月時点のものです。制度内容や日程の最新情報は、必ず公式サイト（it-shien.smrj.go.jp）にてご確認ください。
※補助金の採択を確実に保証するものではありません。あらかじめご了承ください。